

資料提供	
令和元年 12月 27日	
担当課 (担当者)	地域振興課 (田中、石原)
電話 (内線)	30-8173 (2428)

宝島社『田舎暮らしの本』2020年版 住みたい田舎ベストランキング

「子育て世代が住みたい田舎部門」で1位受賞！！

株式会社宝島社が発行する『田舎暮らしの本』1月4日(土)発売の2020年2月号で、「2020年版 第8回 住みたい田舎ベストランキング」が発表(掲載)されます。

これに先駆けて、宝島社より本市が大きなまち(人口10万人以上)グループで「子育て世代が住みたい田舎部門」で1位にランクインしたとの吉報を受けました。(総合部門では、第2位を受賞し、8年連続でトップテン入りを果たしました。)

※情報解禁は、令和2年1月4日(土)午前0:00以降にお願いします。

記

1. 本市のランキング状況

大きなまち(人口10万人以上)グループ

総合部門 2位(8年連続トップテン入り)、子育て世代が住みたい田舎部門 **1位**、
若者世代が住みたい田舎部門 2位、シニア世代が住みたい田舎部門 14位

2. 評価のポイント

本市は、自然を最大限に活かした保育を行っている園があり、子どもの自主性を伸ばす保育環境が整っていること、民生児童委員や地域ボランティアが協力した子育て支援に力を入れており、子育てのネットワークや地域単位での支援が充実していること、また、本市独自の措置として、0~2才の保育料を負担していただく家庭で、同時在園の場合の第2子保育料について、通常1/2のところを1/5に軽減していることなどが評価されたものと考えています。

3. アンケート概要

移住支援策、自然の豊かさ、医療、子育て、就労支援、移住者数などを含む230項目のアンケートを実施し、田舎暮らしの魅力を数値化。629の市町村が回答(前回663市町村)。人口10万人未満の「小さなまち」と、人口10万人以上の「大きなまち」にグループ分けし、全世代対象の【総合】のほか、【若者世代】【子育て世代】【シニア世代】の4部門に分けてランキングされています。

4. 今回の受賞に関する市長のコメント

このたび、大きなまち「子育て世代が住みたい田舎」部門で1位の評価を、さらに総合部門では8年連続でトップ10入りをさせていただいたことは大変光栄であり、うれしく思っております。本市は、親が喜びや生きがいを感じながら安心して子育てをすることができ、鳥取市の未来を担うすべての子どもが明るく健やかに成長できる「子ども 親 地域が輝く 子育て応援都市 とっとり」を目指しています。鳥取県外にお住まいの皆様、ぜひ一度、お越しください。

5. その他

【参考】本市のこれまでの総合部門でのランキング状況（宝島社『田舎暮らしの本』）

第1回～7回 鳥取市総合部門ランキング

2013年版	第1回	第2位
2014年版	第2回	第8位
2015年版	第3回	第2位
2016年版	第4回	第9位
2017年版	第5回	第1位
2018年版	第6回	第4位
2019年版	第7回	第1位

『田舎暮らしの本』は、1987年に創刊した“日本で唯一”の田舎暮らし月刊誌です。全国各地の物件情報や仕事情報など、田舎暮らしに必要なハウツーを紹介。実際の移住者レポートを交え、田舎暮らしに役立つ具体的な情報を発信しています。